

令和4年度 第2回山梨病院地域連携協議会 議事録

日 時 令和5年3月8日(水) 16:00～17:00

場 所 山梨病院2階会議室

委 員

敬称略

甲府市福祉保健部健康支援室 地域保健課長	渡辺 亜矢子
甲府市医師会 総務理事 (ひろクリニック院長)	高橋 章弘
山梨県訪問看護支援センター長	功刀 仁子
山梨県官公立病院等協議会 幹事 (国立病院機構甲府病院院長)	萩野 哲男
国立病院機構甲府病院医療福祉相談員 (オブザーバー)	市村 友希
朝日地区自治会連合会 会長	服田 尚隆
JCHO山梨病院 院長	佐藤 公
JCHO山梨病院 副院長	石原 司
JCHO山梨病院 看護部長	小池 由紀恵
JCHO山梨病院 副看護部長	小沼 久美
JCHO山梨病院 地域医療連携室長	島津 弘江
JCHO山梨病院 感染管理認定看護師	小林 留美
JCHO山梨病院 皮膚・排泄ケア特定認定看護師	桑田 幸子
JCHO山梨病院 地域医療連携係長	中村 成一郎

司会 JCHO山梨病院 事務長 山田 清人

書記 JCHO山梨病院 総務企画 渡辺 里絵

議事録

1. 山梨病院 山田事務長開式

令和4年度第2回山梨病院地域連携協議会を開催いたします。

今回は、対面とオンラインによるハイブリット形式で行わせていただきます。

2. 山梨病院 佐藤病院長挨拶

皆様には日頃より地域連携にご協力いただき、ありがとうございます。コロナウイルス感染まん延に伴いまして色々な対応が求められている中で、4月22日からは重点医療機関としてコロナ病床を13床用意し、様々な事例を経験して参りました。県内のクラスターへ支援を行い、県外の病院に看護師を派遣しました。地域の学校へ出前授業を行い、看護学生の受け入れ、医学生の教育、あさひ地区主催のえびす講祭りにも出店させていただき、地域に少しでも貢献できているのかと思っております。

これからも地域連携を深めていくことが重要になり、今日ご出席いただいている皆様方のご意見をいただき、より地域のニーズに合った病院を目指したいと思いますので、ご意見を寄せていただければと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3. 議題

○ 新型コロナウイルス感染症への対応と地域連携活動について

山梨病院 中村地域医療連携係長

新型コロナワクチンの月別実施件数の実施状況は、第7波の8月が最高で1,712件でした。第8波の12月は、1,081件対応をしました。発熱外来対応件数も第7波の8月が最高で535件、第8波の11月は375件でした。新型コロナウイルス感染症の入院病床は、第8波の1月が最高で278件対応させていただきました。

事例報告として、2023年1月老人保健施設のNAC湯村よりクラスターが発生し、施設内でラゲブリオカプセルが不足し、入手困難ということで当院に協力要請がありました。当院は、5名の入所患者様に対してオンライン診察を行い、処方させていただきました。

地域連携活動として、今年度は病院長、看護部長を中心に訪問チームを形成し、クリニック50件、病院20件、老人保健施設4件、計74件訪問することが出来ました。顔を合わせたより具体的な連携に関する意見交換が出来たと思っております。来年度も引き続き地域連携活動を推進していきたいと考えております。

1月11日に朝日地区元三日自治会への出前講座をさせていただき、当院循環器内科の出山順太郎医師が講師として出講しました。「血圧について」というテーマで色々なお話をさせていただきました。「血圧測定の具体的な方法を知ることが出来て良かった。」「減塩食の工夫を直接医師に聞くことができて良かった。」などと参加者の関心が高まり、共有できて良かったと思っております。

中学生の職場体験では、11月16日に甲斐市敷島中学校へ当院職員が出向き、当院の紹介や聴診器の心音や肺音聴取、血圧測定、酸素飽和度の測定、PPE装着方法などを体験していただき、とても貴重な時間を過ごす事が出来ました。

○ 認定看護師について 認定看護師活動の実際 山梨病院 桑田副看護師長

当院には6名の認定看護師が在籍しており、そのうちがん薬物療法と皮膚排泄ケアの計2名の認定看護師が特定行為研修を修了し、現在活動をしております。そして現在糖尿病看護認定看護師1名が特定行為研修を受講している状況です。

認定看護師には、看護実践、指導、相談の三つの期待される役割があります。熟練した看護技術と知識をもって患者様への看護ケアを提供しております。そして院内に所属する看護師に対して看護実践や研修会を通じて看護技術や知識の普及に努めております。また院外においても研修会講師や研究会、学会を通じて看護の広がりや看護の質向上に取り組んでおります。私も毎年開催される県看護協会主催の褥瘡ケアセミナーや長野県と合同で開催するリハビリテーション講習会を通じて山梨県内だけでなく他県共同で取り組みを行っております。

認知症看護認定看護師は医師、理学療法士、医療ソーシャルワーカー等と連携し、認知症ケア回診を行っております。糖尿病看護認定看護師は、「糖尿病でも食べる楽

しみは必要」と話し、日常生活のサポートを行っております。特にフットケア外来を通じて糖尿病患者様の足を守る取り組みに力を入れております。

がん化学療法看護認定看護師は、抗がん剤治療は薬剤によって副作用は様々ですので、どのような症状がいつごろから起きてくるのか、職業や趣味は何か患者様の生活背景を知り患者様に合った日常生活での注意点や投与後の過ごし方などがん化学療法を受けられる患者様が安心して治療を受けられるため、治療中だけでなく日常生活を含めたサポートを行っております。

当院に所属する特定認定看護師は認定看護師分野にプラスして特定行為を実践するための臨床推論力や病態判断力を研修で学び実際に取り組んでおります。

がん化学療法認定看護師は特定行為を修了するとがん薬物療法看護師認定看護師に名称が変わります。がん化学療法看護認定看護師の専門性にさらに専門性がプラスされ、がん化学療法をうけられる患者様にとって本当に大切な安心できる存在となっております。

皮膚・排泄ケア特定認定看護師は、褥瘡や人工肛門、排泄障害に対するケアを専門としています。認定看護師に特定認定看護師がプラスされたことで、これまで医師しか行えなかった褥瘡に対する外科的処置も、その一部を行うことが可能になり、重度の褥瘡の患者様に早期治癒に向けた介入が可能となっております。実際に重度の褥瘡で入院される患者様でも症状の早期改善につなげる事が出来ています。皮膚・排泄ケア認定看護師として求められている役割の一つに同行訪問があり、当院でも三年前より、同行訪問と退院後訪問の両方に取り組んでおります。退院後の生活を知ることは、その患者様に最も適した看護を一緒に考えることに繋がると考えており、ここで得た知識は更に多くの患者様に還元されています。認定看護師はその役割から地域に向けた活動を求められています。特定認定看護師はそれ以上です。現在も訪問看護ステーションとの連携を強化しておりますが、病院周辺から地域や県内へ必要な医療や看護が必要な患者様のもとへ届く事が大切だと考えております。病院から地域へ切れ目なく医療・看護が提供されること、そして住み慣れた地域で過ごす事、最期の時どこで過ごすか、微力ですがサポートが続けられるようにこれからも活動を続けていきたいと考えております。

○ 認定看護師について 地域における感染管理認定看護師の活動

山梨病院 小林看護師長

感染管理認定看護師としての地域活動の取り組みについて報告させていただきます。病院の患者様や職員を感染から守る事を目的に院内の多職種メンバーと連携し、病院の感染対策に日々取り組んでおります。その一方で県内の高齢者施設や訪問看護ステーションなど感染対策の研修や、山梨県看護協会において県内の看護師対象の感染対策の研修を行い、感染リンクナースの育成に携わっております。コロナウイルスが流行拡大してから県内の高齢者施設、病院等での新型コロナウイルス感染のクラスター対応に介入をしております。12月から YCAT（やまなし感染管理支援

チーム)が発足し、その一員としての活動を紹介させていただきます。

YCATは山梨県が組織した施設等における平時からの感染対策を支援する医療チームです。一定の専門人材研修を受けた医療従事者が施設等で感染症が起こった場合、地域ごと感染管理専門人材チームを派遣し、感染症発生施設へ駆けつけ施設の感染拡大防止対策を支援し、発生から終息まで継続的に支援をしております。

クラスター介入については、特別養護老人ホーム4施設、介護老人福祉施設4施設、小規模多機能型居宅介護2施設、計10施設介入させていただきました。その他クリニックの感染対策の対応、主に発熱患者の同線、クリニックのゾーニング等に介入や訪問看護ステーションにおける感染対策研修も行っております。クラスター介入の介入項目は施設の概要、現状の確認後、施設内のゾーニング、個人防護具の適切な着脱方法、手指衛生の確認、正しい手技の指導をしております。高齢者施設は食事介助者が多いため、食事時の配膳方法や介助にあたる注意点等を指導して参りました。感染対策物の必要度の確認と調整や職員のメンタルフォローアップも行ってきました。介入期間は最低3日間で、1日目は施設の概要の把握、感染対策確認と指導、マニュアルの確認をします。2日目は、1日目の指導内容と実践の確認、感染拡大状況に応じたゾーニングの変更等も行い、3日目には全体の感染対策の遵守状況の確認、感染拡大に伴う対策やゾーニングの変更を行います。4日目以降は施設から再介入に依頼時のみで、メールや電話で不明点や疑問点の対応をしております。

介入後の現状と課題ですが、感染対策の専門家の不在施設は感染マニュアルの不備や標準予防策の不足がみられました。高齢者施設などは、物品の準備や利用者の状況、構造上の問題などから、病院とは違う感染対策上の問題があり、限られた資源や人材の中での対応が今後の課題になると思います。コロナウイルス感染拡大で感染対策がいかに重要か患者様や病院職員と共に振り返る貴重な機会になりました。

感染予防策は患者様や病院職員の理解と協力で成り立つことも再認識しております。今後も感染対策予防策を適切な方法で実践出来るよう職員と共に考えていきたいと思っております。

○ 意見交換

『甲府市医師会 高橋委員』

第8波のコロナ病床の稼働が多いとのことですがその時の使用率を教えてください。

『山梨病院 小池委員』

13床で満床の時もかなりありました。現在は3床でフェーズに合わせて使用しています。2床は常に稼働しております。県からの要請もありますし、当院受診患者様でコロナ陽性が判明して入院していただく方もおりました。

『甲府市医師会 高橋委員』

例えばコロナ陽性者の入院先が見つからず、貴院に相談した場合、かかりつけでない方も受け入れは可能なのでしょうか。

『山梨病院 佐藤委員』

空き状況によりますが、ケースバイケースでご相談いただければと思います。

『甲府市医師会 高橋委員』

認定看護師の方々は病院に勤務している中で研修にいき免許を取得しているのでしょうか。勤務しながらの取得はできますか。クリニックで勤務されている認定看護師はいますか。

『山梨病院 桑田委員』

研修に関しては約半年間、研修を行い、研修終了後に認定審査を受けました。かなりタイトスケジュールでした。どの認定看護師もその期間は休職するのが主になっております。クリニックで働く皮膚・排泄ケア認定看護師もいます。

『甲府市医師会 高橋委員』

クリニック勤務だけでは取得は難しいでしょうか。

『山梨病院 桑田委員』

病院での経験年数、症例件数も問われますので、クリニックのみの経験ですと難しい部分もあると思います。

『山梨県官公立病院等協議会 萩野委員』

当院でも重心入院病棟があり、第8波の時に院内で感染が起こってしまい、厳しい状況が続きました。山梨病院は職員の感染拡大に苦勞されましたか。一般病棟からコロナ病床を排出していると思いますが、ゾーニングやナースステーションの使い方、職員の対応策を教えてください。

『山梨病院 小池委員』

病床は一つの病棟の半分くらいでゾーニングする事が出来ました。もともと3床に関しては少し離れたところにありましたので、ゾーニングする事が可能でした。それ以上増やす時には北と南を分ける事が出来たので比較的安価で対応できました。

看護師もコロナウイルスに感染しましたが、院内感染というよりは、家庭内感染が多かったため病床数を減少するほどではなかったです。コロナ病床をつくる時に病棟の看護師には説明をしまして、2人、3人で日勤対応しました。そのコロナ病棟はもちろん大変でしたが、その分ほかの急性期病棟に入院患者が増えますので、厳しい状況の時にだけ他の病棟からリリーフ体制をとりましたが、基本的には一つの病棟で完結することが出来ました。

『山梨県官公立病院等協議会 萩野委員』

在宅支援病院に山梨病院もされるとお聞きしました。進捗状況を教えてください。

『山梨病院 佐藤委員』

今、準備を進めているところです。訪問診療の仕組みをつくっている所です。

『山梨病院 中村委員』

在宅医療支援病院につきまして、当院職員が深く理解するため、院内研修を計8回行いまして、仕組み、当院の役割、今後のビジョンを理解しているところです。実際に訪問診療の依頼を2、3件受けております。訪問はまだ行っておりませんが、

3月下旬から4月上旬には初回訪問をスタートできるとしております。

『山梨病院 中村委員』

服田自治会長に地域の出前講座を行いまして、実際の感想、皆様のお気持ち、今後の講演内容の希望などありましたら教えてください。

『自治会 服田委員』

出前講座では出山先生に講演していただき、貴重なお話を聞くことが出来ました。高齢者の方であり長いと疲れてしまいますが、30分くらいでちょうど良い時間でした。みなさん真剣に聴いていて、とても良かったと喜んでおりました。18名が参加しましたが、とても好評でしたので、今回は、朝日自治会だけでなくほかの自治会にも声をかけてもっと大勢の方に聴かせていただきたいなと思っております。今後も地域の為にご協力をお願いします。

4. 事務連絡

『山梨病院 中村委員』

今年度も皆様のご協力を得られまして2回の地域連携協議会を無事終了することが出来ました。ありがとうございます。来年度も規定にございます様に、2回の協議会を開催したいと思っております。第1回は9月を目安に委員の皆様には6月から7月にかけて日程の確認のお伺いを立てたいと思っておりますのでどうぞよろしく願います。

5. 閉会 山梨病院 石原副院長

議題について報告させていただき、いただいたご意見を元に対策を考えていきたいと思っております。地域のみなさまにも色々な情報発信を続けながら協力させていただきたいと思っております。感染症対応も今後変わっていくと思っておりますが、当院として病院のありかたも検討していかなければならないと思っておりますが、皆様のご意見、ご要望を聞きながらよりよい病院を目指していきたいと思っておりますので引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしく願います。